

# 壁付柵斜め切詰めセット

## リアルポートⅣ

### レギュラー壁付けタイプ

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「壁付柵斜め切詰めセット」の組み立て、施工について説明しています。  
本体に同梱、または別冊の説明書をあわせて参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

### 本説明書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て・施工を行ってください。

### 警告／注意／お願い

表記	意味
<b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
<b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味	表記	意味
<b>改訂</b>	商品や作業の変更点	シーリング材	必ずシーリングをする箇所
<b>チェック</b>	作業するうえで必要な情報	電動ドライバー禁止	電動ドライバーの使用禁止
<b>ポイント</b>	知っておくと便利な情報	電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- 本説明書は外観左側切り詰めについて説明しています。

### 安全にお取り扱いいただくために

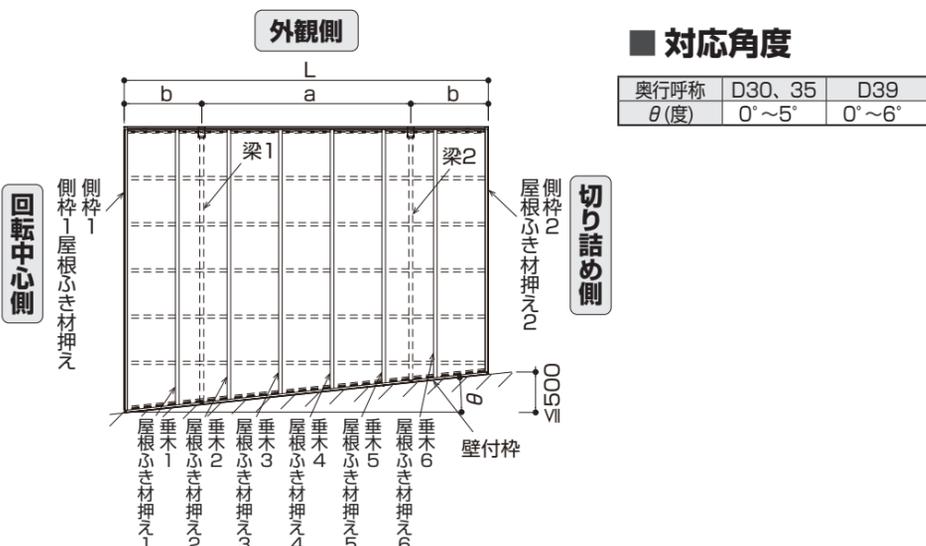
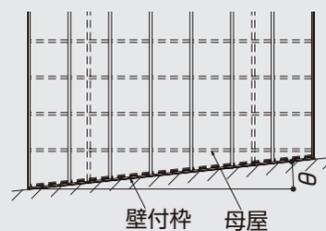
- チェック!** 部材の切り詰め・加工の際は、事前に部材の仮配置などを行い切断箇所を確認してください。

### 同梱一覧

姿図	品名	品番	JCB-(DS)AK1-AXA	備考
	前柵	3K-85529	1	-
-	組立・施工説明書	-	1	-
-	-	-	-	-

### 全体構成図

- チェック!** 母屋をまたいだ切り詰めはできません。



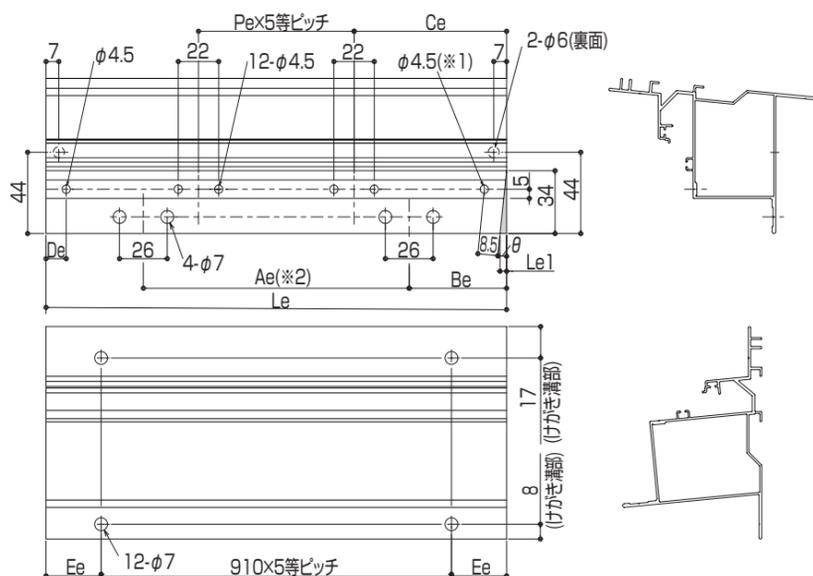
### ■ 対応角度

奥行呼称	D30、35	D39
θ(度)	0°~5°	0°~6°

### 切り詰め・加工

#### 壁付柵

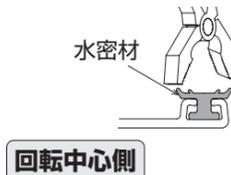
- 壁付柵を切り詰めてください。
- 壁付柵を加工してください。



※1：当該φ4.5穴以外は斜線部の切断前にけがいてください。  
 ※2：柱移動した場合は、柱の移動分穴位置をずらしてください。

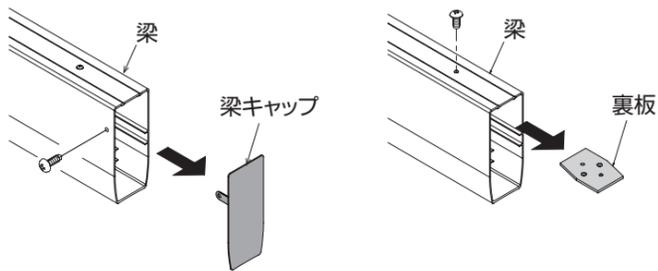
θ(度)	共通							
	Le	Ae	Be	Ce	De	Pe	Le1	Ee
0	5007.0	2900.0	1053.5	713.5	8.5	716.0	0.0	228.5
1	5007.8	2900.4	1054.1	713.8	8.3	716.1	0.6	228.9
2	5010.1	2901.8	1055.0	714.3	8.2	716.4	1.2	230.0
3	5013.9	2904.0	1056.3	715.0	8.0	717.0	1.8	231.9
4	5019.2	2907.1	1057.8	715.9	7.8	717.7	2.4	234.6
5	5026.1	2911.1	1059.7	717.1	7.7	718.7	3.0	238.1
6	5034.6	2916.0	1061.9	718.5	7.5	719.9	3.6	242.3

- 部材の切断側端部をかして水密材を固定してください。



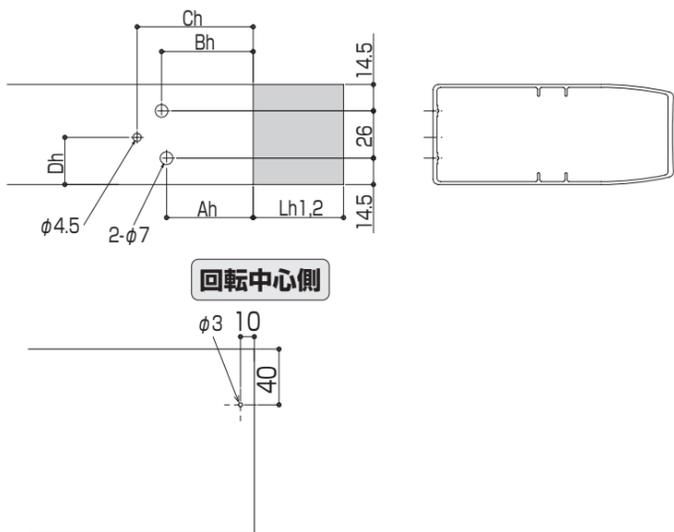
## 梁1・2

1 梁の壁付側端部に取り付いている梁キャップおよび裏板を取りはずしてください。



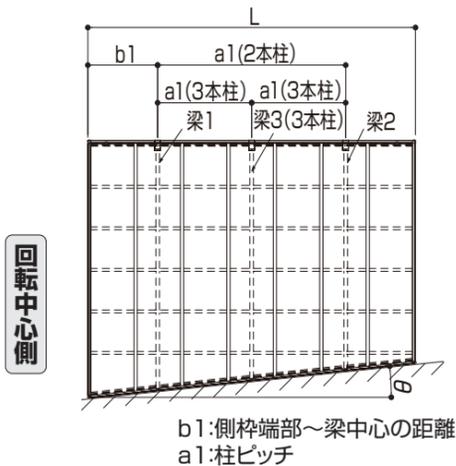
2 梁1・2を切り詰めてください。

3 梁1・2を加工してください。



θ(度)	梁1		梁2		Ah	Bh	Ch	Dh
	Lh1	Lh2	Lh1	Lh2				
0	0.0	0.0	36.8	36.8	51.8			27.5
1	18.4	69.0	36.6	37.0				27.2
2	36.9	138.1	36.4	37.3				27.0
3	55.3	207.3	36.2	37.5	51.9			26.7
4	73.8	276.6	36.0	37.8				26.5
5	92.3	346.0	35.8	38.1				26.2
6	110.9	415.7	35.6	38.4				25.9

### 柱移動した場合



θ(度)	tanθ	cosθ
0	0	1
1	0.01746	0.99985
2	0.03492	0.99939
3	0.05241	0.99863
4	0.06993	0.99756
5	0.08749	0.99619
6	0.10510	0.99452

#### ■ 算出式

$$Lh1 = (b1 - 20) \times \tan \theta - 28.5 / \tan \theta + 28.5$$

$$Lh2 = (b1 + a1 - 20) \times \tan \theta - 28.5 / \tan \theta + 28.5$$

$$Ah = 53 / \cos \theta - 13 \tan \theta$$

$$Bh = 53 / \cos \theta + 13 \tan \theta$$

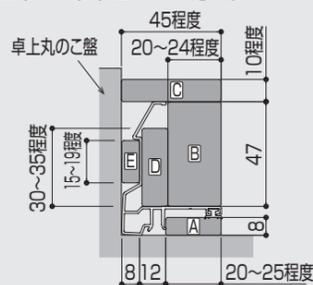
$$Ch = 53 / \cos \theta + 15 \cos \theta$$

$$Dh = 27.5 - 15 \cos \theta \cdot \tan \theta$$

4 裏板を穴位置にあわせて再度取り付けてください。

## 側枠1・2

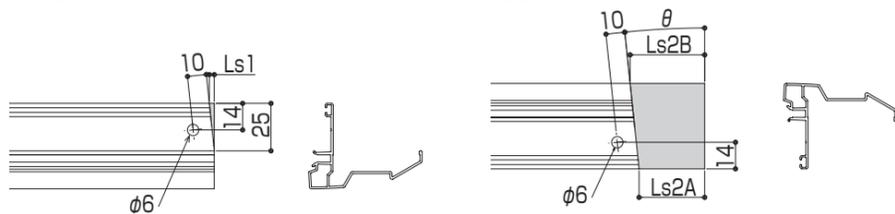
側枠は、正確な角度で切断するために木片や平板 (A~E) などを利用し、部材を垂直に固定して切断してください。



1 側枠1・2を切断・加工してください。

● 側枠1

● 側枠2



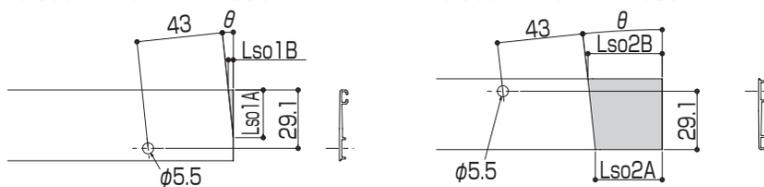
θ(度)	Ls1	Ls2A	Ls2B
0	0.0	0.0	0.0
1	0.4	87.0	87.7
2	0.9	174.0	175.5
3	1.3	261.1	263.5
4	1.7	348.4	351.5
5	2.2	435.9	439.8
6	2.6	523.6	528.4

### 側枠1屋根ふき材押え・側枠2屋根ふき材押え

1 側枠1屋根ふき材押え・側枠2屋根ふき材押えを加工してください。

● 側枠1屋根ふき材押え

● 側枠2屋根ふき材押え



θ(度)	Lso1A	Lso1B	Lso2A	Lso2B
0	25.0	0.0	0.0	0.0
1	24.8	0.4	87.0	87.6
2	24.7	0.9	174.0	175.2
3	24.5	1.3	261.1	262.9
4	24.4	1.7	348.3	350.8
5	24.2	2.1	435.8	438.9
6	24.1	2.5	523.5	527.2

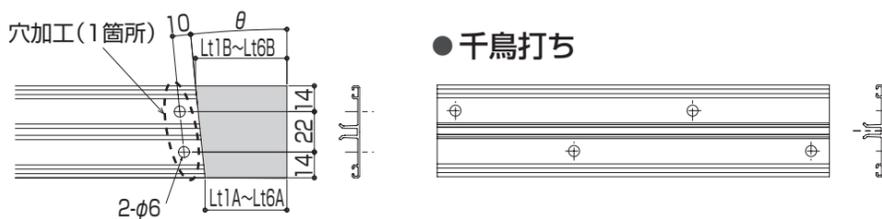
2 部材の切断側端部をかきして水密材を固定してください。



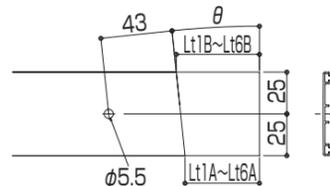
### 垂木1~6・屋根ふき材押え1~6

1 垂木を切断・加工してください。

2 既存取り付け穴と千鳥打ちとなる側に穴加工 (1箇所) をしてください。



3 屋根ふき材押えを加工してください。



θ(度)	垂木・押え1		垂木・押え2		垂木・押え3		垂木・押え4		垂木・押え5		垂木・押え6	
	Lt1A	Lt1B	Lt2A	Lt2B	Lt3A	Lt3B	Lt4A	Lt4B	Lt5A	Lt5B	Lt6A	Lt6B
0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	12.1	12.9	24.6	25.4	37.1	37.9	49.6	50.4	62.1	62.9	74.6	75.4
2	24.1	25.9	49.1	50.9	74.1	75.9	99.1	100.9	124.1	125.9	149.1	150.9
3	36.2	38.8	73.7	76.4	111.3	113.9	148.8	151.4	186.3	188.9	223.8	226.5
4	48.3	51.8	98.4	101.9	148.5	152.0	198.5	202.0	248.6	252.1	298.7	302.2
5	60.5	64.8	123.1	127.5	185.7	190.1	248.4	252.8	311.0	315.4	373.7	378.0
6	72.6	77.9	147.9	153.1	223.1	228.4	298.4	303.6	373.6	378.9	448.9	454.2

4 部材の切断側端部をかきして水密材を固定してください。

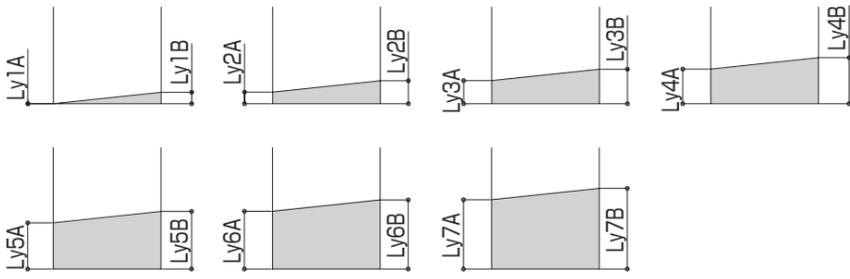


# 切り詰め・加工 (つづき)

## 屋根ふき材

1 屋根ふき材を加工してください。

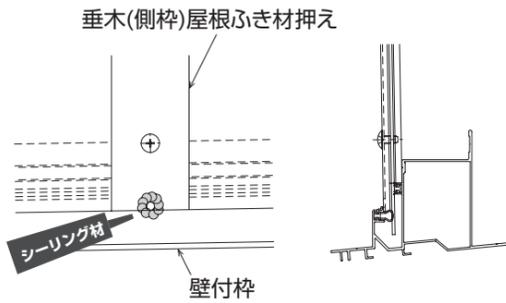
・図は太陽光の当たる面を上にした状態を示しています。



θ(度)	Ly1A	Ly1B	Ly2A	Ly2B	Ly3A	Ly3B	Ly4A	Ly4B	Ly5A	Ly5B	Ly6A	Ly6B	Ly7A	Ly7B
0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	12.4	12.6	24.9	25.1	37.4	37.6	49.9	50.1	62.4	62.6	74.9	75.1	87.4	87.4
2	24.8	25.2	49.8	50.2	74.8	75.2	99.8	100.2	124.8	125.2	149.8	150.2	174.8	174.8
3	37.2	37.7	74.7	75.3	112.3	112.8	149.8	150.3	187.3	187.8	224.8	225.4	262.4	262.4
4	49.6	50.3	99.7	100.4	149.8	150.5	199.8	200.5	249.9	250.6	300.0	300.7	350.0	350.0
5	62.1	63.0	124.7	125.6	187.4	188.2	250.0	250.9	312.6	313.5	375.3	376.2	437.9	437.9
6	74.5	75.6	149.8	150.9	225.1	226.1	300.3	301.4	375.6	376.6	450.8	451.9	526.1	526.1

## 屋根ふき材押え (垂木・側枠) の取り付け

1 垂木 (側枠) 屋根ふき材押え材の既存穴が部材接合部で重なる場合  
漏水を防ぐために穴の周囲を入念にシーリングしてください。



## 壁付枠の取り付け

1 壁付枠は切り詰め側の部材上部をB' 低く取り付けてください。  
(※本体に同梱の組立・施工説明書「寸法図」参照)

